

小学校受験 行動観察

行動観察とは？

小学校受験で出題される科目のひとつです。

子ども同士での活動を通じて、協調性・社会性・主体性などを見る試験です。



出題例

お買い物ごっこ

グループになって子どもたちを「お店側」と「お客さん側」に分け、簡単な工作をし、お買い物をする。



「お買い物ごっこ」で見られる力

課題への取り組み・主体性

「どうしたら買ってもらえるかな？」と自分で考え、試して、うまくいかなければやり方を変える力。

指示を理解→行動→改善（置き場所・見せ方を変える等）予定外のことに切り替えて対応。

友達との関わり

役割分担（店員／お客／呼び込み）相談・困っている友達への声かけ。

相手の考えを聞き、自分の意見を分かりやすく相手に伝えながらチームで進める協調性。

自己表現・感情コントロール

商品の「おすすめポイント」を分かりやすく説明する、声量や目線、短く要点を伝える力。

売れない・失敗しても不機嫌にならず、気持ちを切り替えて次の方法を考える姿勢。

運動・工作能力

売る物・看板を時間内に丁寧に作る手先の操作と工夫力。

道具の扱い、完成度、他にはない工夫。

常識・礼儀・マナー

「いらっしゃいませ／ありがとうございます」などの基本の言葉、

言葉遣い、商品を丁寧に扱う、約束・ルールを守る姿勢。

保護者へのアドバイス

「行動観察」から分かるのは、正しい答えを暗記する力ではありません。

状況に応じて自分で考え、工夫し、友達と協力しながら変化に対応できる力こそが大切です。

今は「正解が一つではない」時代です。大人の世界でも、仕事や生活の中で予想外の出来事が起きるのは当たり前。その時に必要とされるのは、「どう考え、どう行動するか」です。

こうした 非認知能力（主体性・協調性・創造力・感情コントロール）はペーパーテストの点数では測れません。しかし、これからの社会を生き抜く上で非常に重要な力であり、小学校受験でも行動観察を通じて重要視されているポイントです。

つまり、行動観察の課題は「将来の社会で必要とされる力」を見ている試験でもあるのです。

ご家庭でも「正解を教え込む」のではなく、考え方を一緒に探し、子どもの挑戦を応援する姿勢が、合格だけでなくその後の成長にもつながります。

行動観察 チェック表

この表は各項目ごとに子どもの様子をチェックし、加点（できている項目は各+1点）☐ にチェックを入れ、各項目ごとの評価と総合評価を見る方式です。

常識・礼儀・マナー

加点
+1

合計 点

- ☐ 自分からあいさつができる
- ☐ きちんとお話を聞くことができる
- ☐ 丁寧な言葉遣いで話すことができる
- ☐ 立つ・座るなど正しい姿勢を保てる
- ☐ 静かに待つことができる
- ☐ お願いします・ありがとうなどが言える
- ☐ 丁寧に物を扱うことができる
- ☐ 返事や相づち、質問に対して的確に答えられる
- ☐ 貸し借りやゆずり合うことができる
- ☐ 順番を守ることができる

課題への取り組み・主体性

加点
+1

合計 点

- ☐ 指示を最後まで聞いてから行動できる
- ☐ 課題を正しく理解し、行動に移すことができる
- ☐ 先生の指示に従うことができる
- ☐ 分からない事や困った事を自分から質問できる
- ☐ 意見や注意を聞き入れ、取り組むことができる
- ☐ 積極的な気持ちを態度や言葉から表現できている
- ☐ 丁寧に課題に取り組むことができる
- ☐ 上手く行かない時に修正をして改善できる
- ☐ 難しい課題にも挑戦する姿勢を見せられる
- ☐ 最後までやり遂げることができる

友達・先生との関わり

加点
+1

合計 点

- ☐ 困っているお友達を助けることができる
- ☐ みんなの意見をまとめることができる
- ☐ グループ全体のために行動できる
- ☐ 意見が違う友達に対して聞く姿勢を持てる
- ☐ 集団課題の中で自分の役割を果たせる
- ☐ 友達と衝突しても解決することができる
- ☐ 友達の輪に入ることができる
- ☐ 仲間外れをせず、全員と仲良くできる
- ☐ 相手を思いやった会話・行動ができる
- ☐ 注意されても素直に受け止め改善できる

自己表現・感情コントロール

加点
+1

合計 点

- ☐ 自分の意見や考えを伝えることができる
- ☐ ゲームなどで負けた後も不機嫌にならない
- ☐ 大きな声や騒ぐ・ふざけるなどの行動を控えられる
- ☐ 思い通りにならなくても不機嫌にならない
- ☐ 気持ちを切り替えて次に進める
- ☐ 「ごめんね」などの気持ちを言葉にできる
- ☐ 負けても相手をたたえられる
- ☐ 不安で、声が小さくなったり泣いたりしない
- ☐ 人前で堂々と発表ができる
- ☐ 自分の意見を主張しすぎず調整できる

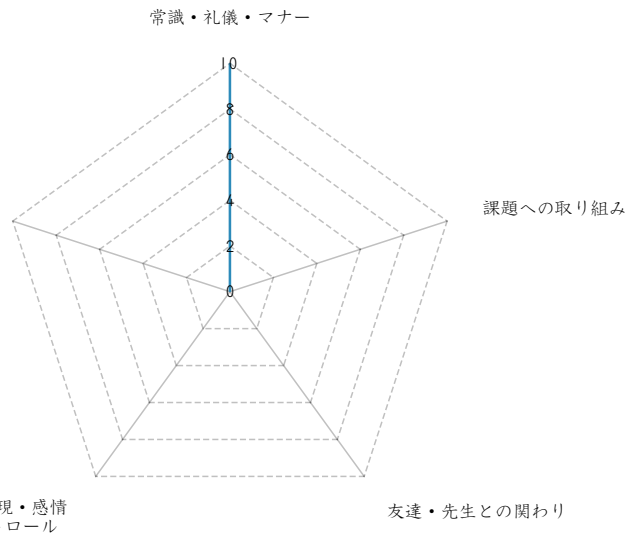
運動・工作能力

加点
+1

合計 点

- ☐ 運動基本動作（走る・跳ぶ・投げる等）ができる
- ☐ 制作基本動作（切る・貼る・描く等）ができる
- ☐ 課題をよく見て、観察し覚えることができる
- ☐ 課題を正確に再現・表現することができる
- ☐ テーマをよく理解し課題に生かすことができる
- ☐ アイデアを生かし工夫して課題に取り組む
- ☐ 道具などの物を正しく扱うことができる
- ☐ 制限時間を意識して取り組める
- ☐ 後片付けや整理整頓ができる
- ☐ 絵や制作物の意図を分かりやすく説明できる

運動・工作能力



総合評価 合計 点

ワンポイントアドバイス

「数値化」することで、「弱点が明確に見えます」
総合的なバランスを見て、このグラフからお子さんの傾向を知り、今後の指導に役立ててください。
お子さんの弱点を見直しつつ、良いところを伸ばしていくことが大切です。
ぜひ、お子さん一人ひとりの個性や成長段階に合わせて、無理なく活用してください。

総合評価

常識・マナー：____点
課題への取り組み：____点
友達との関わり：____点
自己表現・主体性：____点
総合点：____点（／50点満点）

【目安】

40点以上 … A
30～39点 … B
20～29点 … C
19点以下 … D

よかった所・気が付いた事・改善点・次に取り組むことなどを書きましょう。

memo